



# Newsletter 第8号



本プロジェクトは、モンセラード州保健局（Montserrado County Health Team : MCHT）の監理能力の強化、ミニプロジェクトを通じたPDCA管理能力の向上、5S-KAIZEN-TQMを用いた州・郡保健局と州内の保健医療施設の組織マネジメント強化、グッドプラクティスの共有等を通して、MCHTのマネジメント能力の向上の実現と保健サービスの改善を目指します。

## ミニプロジェクト活動のご紹介

本プロジェクトでは、PDCA管理能力の強化を目指し、MCHTと郡保健局を対象にミニプロジェクトを募集し、選定された9案件が現在進行中です。今回は、その中からリベリアにおける重要な保健課題の1つである母子保健に関する二つのミニプロジェクトの活動をご紹介します。

### ① Enhance Maternal and Neonatal Audit, Review and Documentation (モンセラード州保健局リプロダクティブヘルスチーム)

郡保健情報システムのデータをもとにした統計によると、モンセラード州の妊産婦死亡率（出生10万対）は2020年で990、2021年で920、2021年で1110と報告されており、WHOの報告による国の妊産婦死亡率652（2020）と比較しても、高値となっています。リベリアでは、コミュニティや医療施設で発生した全ての妊産婦死亡、新生児死亡例をレビューし、医療サービスや上位医療施設への搬送の問題点を明らかにして、対策を講じることにしています。このケースレビューは、郡保健局が中心となって実施するため、正確な情報をもとに有効な対策を検討するためには、彼らの情報収集・記録・報告能力の強化が必要不可欠です。また、医療アクセスのよくない地域では自宅分娩も多く、有資格者の立ち会いによる施設分娩よりも妊産婦・新生児死亡のリスクが高くなるため、施設分娩を促すためにはコミュニティによる働きかけも非常に重要となります。

州保健局のリプロダクティブヘルスチームは、州内全7郡のうち4郡を対象として、郡保健局スタッフやコミュニティヘルスワーカーの妊産婦・新生児死亡に関する情報収集・記録・報告能力を強化するための研修を5月に実施し、各郡での巡回指導を通じて記録の状況等を確認しました。また、6月には各コミュニティの代表者、女性グループのリーダー、コミュニティボランティア等を対象にミーティングを開催し、安全な環境で分娩できるよう、妊婦やその家族に対して妊婦健診の早期受診、異常時の早期対応、施設分娩に向けた準備を促すよう指導しました。

州保健局の母子保健責任者であるNancy Bonnerさんは、「残りの3郡でも同様の活動ができるよう、次のミニプロジェクトにも応募したい」と活動の継続に意欲的でした。



施設スタッフと分娩記録、死亡ケースの分析状況を確認しながら、改善点を伝える州保健局の母子保健担当者



コミュニティステークホルダーミーティングで妊産婦死亡を減らすための誓いをたてる参加者



## ②Improving adherence to Partograph Use (セントラルモンロビア郡保健局)

セントラルモンロビア郡は、モンセレード州の中で最も人口が集中する地域で、国内唯一の三次医療施設であるジョン・F・ケネディ医療センター／日本リベリア友好母子病院には国内の重症例が多く搬送されてくるため、多くの妊産婦死亡例が報告されています。

分娩の際には、子宮口の開き具合、陣痛の強さ・頻度・持続時間、胎児の心拍、母体の状態などについて、数時間にわたり経過を観察する必要があります。通常、医療従事者が分娩を管理する場合、“パルトグラフ”という記録様式を用いて、分娩の経過が正常であるかどうかを判断します。分娩の経過を正しく記録することで、スタッフの交代時や他施設への搬送の際にも正しい情報を伝えることができます。

しかし、パルトグラフの記入方法は少し複雑であるにも関わらず、看護・助産学校の講義で少し触れる程度であるため、看護師・助産師がパルトグラフの正しい記載方法を理解して使用するケースは少ないようです。また、ケアの記録を残すという習慣がないこと、記録用紙自体が不足していることもあり、リベリアの医療施設では、パルトグラフが適切に活用できていません。

セントラルモンロビア郡保健局では、ミニプロジェクトを通じて、郡内の分娩取り扱い施設を対象に、分娩監視のポイントとパルトグラフの使い方のトレーニングを実施し、分娩時に起こりうる合併症をまとめたポスターとパルトグラフ用紙を配布しました。その後、実際に医療施設を巡回し、トレーニングを受けた看護師・助産師が正しくパルトグラフを使用できているか確認し、必要に応じて指導を実施しました。この巡回指導は全ての対象施設で二度実施される予定です。これらの活動を通じ、パルトグラフの正しい使用方法と根拠に基づく助産ケアの提供を目指しています。



パルトグラフの使用方法についてのワークショップの様子



研修後、分娩時に起こりうる合併症とその対応方法をまとめたポスターを壁に貼る施設スタッフ



パルトグラフの記載状況を確認しながら、改善点を伝える郡保健局の母子保健担当者



巡回指導を行なったセントラルモンロビア郡保健局チーム